



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

公益財団法人 友愛

〒112-0002  
東京都文京区小石川  
1-10-13 小石川文ビル2階

TEL: 03-5684-3188

FAX: 03-5684-3186

E-Mail: you-i@yuai-love.com

http://yuai-love.com

編集人：羽中田元美

隔月1回 10日発行

会費(4月~3月)

個人 / 3,000円以上

法人 / 10,000円以上

# 明けましておめでとうございます



## 新春巻頭言

### 友愛の使命

理事長 鳩山由紀夫

友愛の心を大切にしてください。今年  
はどんなお正月を過ごされたのでしょうか。

昨年元日に能登半島地震が起き、次の日には羽田空  
港でJAL機と海上保安庁機の衝突事故があり、一年が  
とても心配な幕開けでした。能登半島は未だに復興が  
遅々として進まず、飛行機の衝突事故に関しても、未だ  
に責任の所在が完全に明らかになっていません。日本と  
言うシステムが機能不全を起こしているのではないかと  
気懸りです。

ただ揺らいでいるのは日本だけではないようです。お  
隣の韓国では尹大統領が野党の抵抗で法案が成立しない  
ことに苛立ち、突然戒厳令を宣布し、それに反対する国  
会が弾劾議案を可決しました。さらに合同捜査本部は内  
乱を首謀した疑いで尹大統領の拘束令状を取りました。  
そのような最中に務安空港でバードストライクで緊急着  
陸した済州航空がコンクリート壁に激突して179人が  
亡くなる事故が発生しました。

海の向こうのアメリカではトランプ氏が圧勝し、大統  
領選のみならず、上下両院で共和党が多数を占めるトリ  
プルレッドとなりましたが、巷間「妄想性障害が」とま  
で囁かれているトランプ大統領の再登板で、米国は赤と  
青の分断が進行するのではないかと懸念されています。  
そのトランプ大統領はウクライナ戦争を停戦に導くので  
はないかと期待されていますが、バイデン大統領が馳の  
最後っ屁のように、ウクライナに1年分の継戦能力を持  
たせるだけの武器支援を行い、その中にはロシアに届く  
長距離ミサイルまで含まれています。プーチン大統領は  
対抗上、核兵器の使用基準を引き下げましたので、世界  
は今、核戦争へとエスカレートするか否かの瀬戸際に来  
ています。

私も財団法人友愛はこのような世界情勢の前に、一  
種の無力感を禁じ得ないところですが、今こそ友愛の心  
を世界に広めなくてはならないとも感じています。

昨年一年、友愛の活動はミャンマーの国情により農業  
青年の支援は大きく進展しませんでしたし、中国側の受  
け入れの問題もあり、中国の大学生に対する友愛小論文  
コンテストは行うことは叶いませんでした。一方、オー  
ストラリア勤労青年連盟(OEJAB)との交流は順調に

行われています。8月20日から13日間、OEJABの派  
遣員12名が来日し、広島原爆資料館を見学した後、平和  
記念公園で献花をしたり、京都の見学、また東京では友  
愛の勉強会や鳩山会館での講演会に参加しました。とく  
に好評だったのはお茶席体験だったようです。特筆すべ  
きは、OEJAB派遣経験者を中心に若者たちで結成し  
ている友愛ユニオンの有志が、アテンドしてくれたこと  
でした。日頃の青年たちが親しく付き合っている姿に未  
来を感じました。今年の3月には、6名(男子4名、女  
子2名)の学生がオーストラリアのOEJABに派遣され  
て難民問題など見聞を広めてくることになっています。  
派遣を希望して応募してくる学生がみな優秀で、選抜す  
る先生方から嬉しい悲鳴が上がっていました。

中国の大学生との友愛小論文コンテストはできません  
でしたが、韓国の全州大学校で日本語を学ぶ学生に対し  
て友愛の話を聞いていただき、小論文コンテストを行う  
ことが出来ました。また、初めての試みとして、同行し  
た6名の友愛ユニオンのメンバーと全州大学校の学生と  
の間で、気候変動問題などをテーマとして6つのテー  
ブルに分けて、一時間程度でしたがテーブルディスカッシ  
ョンを行いました。日韓の若者同士が和気藹々としなが  
らも、真剣に議論をしている姿に胸が熱くなりました。  
韓国ではその他に、延世大学校との間でも友愛の交流が  
進むことになりそうです。また、中国との間の友愛小論  
文コンテストも今年は復活できるのではないかと期待し  
ています。

コロナの影響はありましたが、友愛精神は中国、韓国  
などに徐々にではありますが、着実に浸透してきている  
ことを感じます。昨年の暮れにはソウルで「友愛の夜」  
と題するパーティーを開いてくださり、李洛淵元首相な  
ど多くの方々が参加してくださいました。この一月には  
ハングル語ではありますが、「鳩山の友愛」と言う本が出  
版される予定です。

友愛の根底にある「和を以て貴しと為す」は東洋に普  
遍的な精神です。まずは東アジアに友愛の必要性を知ら  
しめ、東アジアから不戦の声を世界中に届けて行く使命  
を財団法人友愛が担っていききたいものと、年頭に当たり  
願います。

# 2024年度OEJAB派遣員

## 6名の派遣員がそれぞれの「抱負と期待」を語る

### ウイーン訪問を前に事前勉強会・友愛ユニオン勉強会・懇親会を終えて

千葉大学医学部5年

岩岡 優太

まずはこの度、自分の力ではとても得難いような学びの機会を頂ける事となり、大変有り難く思っております事をお伝えしたいと思います。

先日行われた事前勉強会ではクルド人問題に関するお話を伺うことができたが、そのお話が非常に印象的でした。

クルド人とはそもそもトルコ南東部からイラク、イラン、シリアなどにまたがる地域に住む民族で、固有の言語も保有しています



岩岡 優太さん

ながら私自身は、クルド人の人々についても彼らの置かれていた実態に知らず知らずして来ましたが、日本において難民問題というのはあまり焦点を当てられない部分ではあります。日本にもクルド人は一定数在住しています。正しい理解をされないまま冷たい視線を浴びてしまう人もいると思います。知らなければ気づかないような問題は山ほどある一方で、それらに気づいている人が理解し発信し、焦点を当てて問題化すべきことがあるのだろうと痛感しています。

私は、現在大学では臨床実習生として、様々な理由で病院に来院している患者さんと接しています。医療や福祉の分野においても、一筋縄ではいかない問題がたくさんあります。この度の派遣ではオーストリアにて様々な福祉事業を展開しているOEJABの施設を見学する機会を頂けると伺っています。その中から日本に還元できる要素を見出し、それを直接見聞きし知ったものとして、いつか社会の一隅を照らす役割を担えたらと思います。

一緒に派遣に向かう5人の同期の皆さんはさまざまなバックグラウンドを持っていて、そんな皆さんとそれぞれの持つ知識や考えを一つのテーマに向けて交わし合うことを楽しみにしていますし、きっと刺激的なものになるのではないかと期待しています。

また、このプログラムへの参加を希望されながらも叶わなかった方々が数多くいらつしやる筈で、其々が少なからず友愛の理念へ通じる理想や考えをお持ちだと思います。この頂いた機会が自身の得た知識と経験、感じたことを自分のものとするだけではなく、そのような方々への敬意も込めて、広く共有するために発信していきたいと考えています。

私は大学でドイツ近現代史を専攻しており、辺境地域のナショナリズム運動を専門分野としております。従いまして、国民国家が誕生する契機となったフランス革命の理念に「友愛」が含まれている意義を、ジョン・ロックの市民法、すなわち合意形成による熟慮民主主義を実現するという見方から解説された谷藤先生のお話など、大変興味深く拝聴致しました。

また難民問題につきましては、実際に最前線でご活躍されている大橋毅弁護士から日本におけるクルド人難民支援の実態や排斥運動についてお話いただき、フエイクニュースやデマによる日本社会と彼らの分断の深刻さ、入管による受け入れの厳しさを再認識致しました。

私はドイツに留学をした経験から、社会的マイノリティとして社会を見つめ直し、差別や偏見が現地社会へ溶け込むことを難しくしていると感じました。先生方のご講義をお聞きして、大いに勉強させていただきました。

東京大学文学部  
社会学専修4年

坪山 倫

この度は、OEJAB派遣員として選ばれたことを大変うれしく存じます。三月のウイーン渡航に向けた私の目標は、二つに大別されます。

第一に、訪問先の機関や施設において、最大限の学びを得ることです。今回の派遣においては、ウイーンに居を構える国際機関を訪問しそこで働く方々のお話を伺う機会や、難民施設を訪ね難民の方々を含む人々と直接のコミュニケーションを行う機会が用意されている、と伺っております。

私自身、アカデミアや民間企業におけるキャリアを追究したのち、最終的には政府機関における社会制度設計や公共政策業務に携わりたい、と思いついています。そのような目標に照らして、今回の派遣における機関訪問は千載一遇の良縁であり、事前の準備を重ねた上で、そこでの学びを最大限に活かしたいと思います。

「郷に入るとは郷に従え」という言葉を否定は致しません。ですが、だからといって村八分にせず、「郷の掟」を彼らとともに共有するサポートが必要であることより一層痛感致しました。



坪山 倫さん

OEJABが行う難民支援活動が実施する支援策の実態を現地にて学び、現地の職員の方々との交流を通じて知見を深めさせて頂きたいと思っております。また、この度の派遣事業だけでなく、今後も友愛ファミリーの一員として携わるためにも、同期の皆さん、そして事務局の皆さんとより交流を深めさせて頂きたいと思っております。

大化することに努める所存です。また、日本に閉じこもっている限り「日本の難民受け入れ状況に鑑みても」難民の方々と直接触れ合う機会というのは大変貴重なものだと思います。私自身、ドイツおよびフランスに留学していた時期に、移民家系の友人を多く作る、あるいは街で移民の人々と触れ合うことはあっても、実際のところすぐ近くにいるはずの難民の方々と、コミュニケーションを取る機会には恵まれません。施設において難民の方々に伺いたいことは山程ありますが、情報収集を主目的として派遣されるわけではありませぬから、自分の研究や将来設計に対するインプットや、彼らの如何は措きつつ、彼らとフラットかつ丁寧に接し、その場において彼らに向き合うことができる、という事態そのもの大切さと喜びとを享受したいと考えております。

第二の目標は、ウイーンでしか、あるいはオーストリアでしか味わえない体験に、可能な限り多く従事することです。私は先にも言及した欧州留学中に、一度ウイーンを独りで訪れた経験があります。折しも十数年一度の大雪に見舞われていた十二月のウイーンで凍える思いをしていたことが振り返られます。今回は孤独な旅ではなく、素晴らしい仲間と共に渡航できることを嬉しく思います。大好物のシュニッツェルや、前回渡航時には挑戦できなかった本場のザハトルテ

に舌鼓を打つことが今から待ち遠しく、シレーヤクリムトの絵画に再会できることも、この上なく楽しみです。学部生活の最後に、最高の学びと思いを得られることを、心から期待しています。

北海道大学大学院共同  
資源工学修士2年  
佐々木 太一

この度2024年度OEJAB派遣に参加させていただくことになりました。北海道大学大学院工学修士2年の佐々木太一です。多くの優秀な学生の中から私を選抜してくださり誠にありがとうございます。皆様のご期待に応えられるよう、今回のオーストリア派遣では多くのことを吸収したいと思っております。

私がこの派遣に申し込んだ一番の理由は、グローバルな視点をもつ様々な分野の学生と深い交流をしたいと思ったからです。私は大学院で資源学を学んでおり、その視点から世界を見つめることができると思っています。一方、国際関係論や地政学といった知識はほとんどありません。今回の派遣では、このような私の知らない世界の見方について、様々な専門を持つ学生から学びたいと思っております。

先日の勉強会に参加した際、初めて一緒に派遣に参加するメンバーと会いましたが、私の期待はますます高まっています。講義に取り組み姿勢や質問の内容から、普段から物事を深く考



佐々木 太一さん

えていることがうかがえま... また、彼らとの会話を... 深さと自分の意見をはつきり... 持っていることがわか... りました。このような優秀な学生と一緒に派遣に参加できることをとても光栄に... 思います。

また、勉強会・懇親会では... O E J A B 派遣員の先輩方とお話しする機会があり、... 刺激をもらいました。

参加されていた先輩方は、一人一人が友愛という... 団体がどうすればよりよくなるかを真剣に考えており、非常に頼もしく皆さん... についていきたいという気持ち... 持ちが芽生えました。私も... 今回の派遣を通じて、自分... の知らない知見や考え方を... 吸収し先輩方に追いつきたい... と考えています。

改めてこのように多様な人材が集まった友愛という... 財団に所属できることを非常にうれしく思います。私も今回の派遣で自分なりの「友愛」を見つけ、帰国後同期や先輩方と語り合うことができればと思っています。

最後にありますが、私がこの派遣の募集を見つけたこと、そして財団の皆様が私を選んでくださったこと、すべての縁に感謝し行... った参りたいと思います。

この度はO E J A B 派遣員に選ばせていただき、ありがとうございました。事前研修会も終え、友愛ユニオンの一員になれることを嬉しく思いつつ、近づいてくる渡航の日を楽しみにしております。

私がこの派遣プログラムに申し込んだ理由は、まさに難民問題と国際機関の果たす役割への関心にあります。私は平和や人権問題に関心を持っており、現在は国際法を勉強しています。国際法を勉強する中で常に感じるのが、マクロな視点だけで物事を見てはいけな... いということ。国と国との関係、紛争、膨大な数の移民・難民など、ニュー... スや授業で知る情報には、個人の顔がありません。過酷な現実の中で最良の判断を探るには、もちろん冷静な分析や利害の調整が必要です。しかし、どんな専門家でも、実務家でも、個人の重みを忘れず想像し続けることが必要だと思っております。

この想像力を養うためにも、私は今回のオーストリア派遣の機会を最大限に活かしたいです。そのために、まず、渡航前にできる限り予習していきたいです。

す。実際に目で見た時の学びや感動の大きさを決めるのは、事前の知識や期待です。オーストリアの難民問題、C T B T O、またオーストリアの歴史について、事前研修に加えて自分でもしっかり勉強しておきたいです。また、渡航中は、人との出会いに一つ一つ向き合っていきたいです。たとえ短い時間であっても、心に残る出会いを作ることが可能だと思っています。難民施設で暮らしている人、職員の人、C T B T O で働いている人など、様々な人との出合いを楽しみたいです。そうすることで「難民問題」や「国際機関」は、目に見える、顔のある人の集まりとして想像できるようになると思っています。

私は卒業後、海外の大学院に留学し、国際法を通じて平和な世界への規範形成について学びたいと思っています。自分の目で見て、耳で聞く経験は他の何よりも記憶に残ります。今回の派遣は、机に向かう勉強と現実の世界を繋げる絶好の機会です。多様な専門、関

心を持つ派遣メンバーと一緒に、目一杯学んで帰ってきます。



尾田 夏野さん

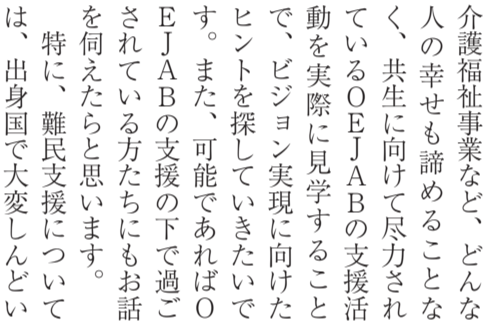
この度は、O E J A B 派遣員に選んでいただき、誠にありがとうございます。先日の勉強会やユニオン懇親会では、友愛活動の歴史を深く知ることができ、また友愛ユニオンの素敵なメンバーと交流する機会をいただき、派遣に向けて期待に胸が高鳴りました。そして何より、それぞれ異なる関心を持つ同期の派遣員と、お互いの視点を交換し合いながらオーストリアで学びの機会を得られることが、大変楽しみです。

私のビジョンは、「生きづらさを抱え、罪を犯した人が、今度こそ社会の中で共生して幸せな生活を過ごせるため奔走する」ことです。そのために、O E J A B 派遣では、オーストリアにおける、様々な背景を抱えた人との共生の在り方を体感したいと考えています。難民支援、青年支援、介護福祉事業など、どんな人の幸せも諦めることなく、共生に向けて尽力されているO E J A B の支援活動を実際に見学することで、ビジョン実現に向けたヒントを探していきたいです。また、可能であればO E J A B の支援の下で過ごされている方たちにもお話を伺えたらと思います。

特に、難民支援については、出身国で大変しんどい

思いをされた方が難民申請をするために日本に来て、も、手厚いケアを受けるどころか厳しい環境で過ごさざるを得ない現状を、先日の勉強会で改めて実感し、大きなショックを受けました。さらに、たとえ難民認定を受けることができたとしても、日本で生きやすいようなサポートがなければ、彼らの苦難は終わらないだろうと感じます。一方で、難民問題には、戦争や紛争、差別、貧困など、様々な社会課題が絡み合っています。だからこそ難民に対する支援が広がっていくべき、他の生きづらさを抱えた方たちも生きやすくなる社会に繋がるかもしれない、とも思っています。

二週間の派遣期間で、O E J A B の取り組みを存分に吸収し、将来取りこぼしのない支援を行うための大きな一歩にしたいと考えています。そして、O E J A B を一つのロールモデルとしながら、派遣後は私も友愛があふれるような世界を目指して、邁進していきたいです。



木島 優美さん

この度は、O E J A B 派遣員に選んでいただき、誠にありがとうございます。先日の勉強会やユニオン懇親会では、友愛活動の歴史を深く知ることができ、また友愛ユニオンの素敵なメンバーと交流する機会をいただき、派遣に向けて期待に胸が高鳴りました。そして何より、それぞれ異なる関心を持つ同期の派遣員と、お互いの視点を交換し合いながらオーストリアで学びの機会を得られることが、大変楽しみです。

私のビジョンは、「生きづらさを抱え、罪を犯した人が、今度こそ社会の中で共生して幸せな生活を過ごせるため奔走する」ことです。そのために、O E J A B 派遣では、オーストリアにおける、様々な背景を抱えた人との共生の在り方を体感したいと考えています。難民支援、青年支援、介護福祉事業など、どんな人の幸せも諦めることなく、共生に向けて尽力されているO E J A B の支援活動を実際に見学することで、ビジョン実現に向けたヒントを探していきたいです。また、可能であればO E J A B の支援の下で過ごされている方たちにもお話を伺えたらと思います。

特に、難民支援については、出身国で大変しんどい

思いをされた方が難民申請をするために日本に来て、も、手厚いケアを受けるどころか厳しい環境で過ごさざるを得ない現状を、先日の勉強会で改めて実感し、大きなショックを受けました。さらに、たとえ難民認定を受けることができたとしても、日本で生きやすいようなサポートがなければ、彼らの苦難は終わらないだろうと感じます。一方で、難民問題には、戦争や紛争、差別、貧困など、様々な社会課題が絡み合っています。だからこそ難民に対する支援が広がっていくべき、他の生きづらさを抱えた方たちも生きやすくなる社会に繋がるかもしれない、とも思っています。

二週間の派遣期間で、O E J A B の取り組みを存分に吸収し、将来取りこぼしのない支援を行うための大きな一歩にしたいと考えています。そして、O E J A B を一つのロールモデルとしながら、派遣後は私も友愛があふれるような世界を目指して、邁進していきたいです。



木島 優美さん

この度は、O E J A B 派遣員に選んでいただき、誠にありがとうございます。先日の勉強会やユニオン懇親会では、友愛活動の歴史を深く知ることができ、また友愛ユニオンの素敵なメンバーと交流する機会をいただき、派遣に向けて期待に胸が高鳴りました。そして何より、それぞれ異なる関心を持つ同期の派遣員と、お互いの視点を交換し合いながらオーストリアで学びの機会を得られることが、大変楽しみです。

私のビジョンは、「生きづらさを抱え、罪を犯した人が、今度こそ社会の中で共生して幸せな生活を過ごせるため奔走する」ことです。そのために、O E J A B 派遣では、オーストリアにおける、様々な背景を抱えた人との共生の在り方を体感したいと考えています。難民支援、青年支援、介護福祉事業など、どんな人の幸せも諦めることなく、共生に向けて尽力されているO E J A B の支援活動を実際に見学することで、ビジョン実現に向けたヒントを探していきたいです。また、可能であればO E J A B の支援の下で過ごされている方たちにもお話を伺えたらと思います。

特に、難民支援については、出身国で大変しんどい

思いをされた方が難民申請をするために日本に来て、も、手厚いケアを受けるどころか厳しい環境で過ごさざるを得ない現状を、先日の勉強会で改めて実感し、大きなショックを受けました。さらに、たとえ難民認定を受けることができたとしても、日本で生きやすいようなサポートがなければ、彼らの苦難は終わらないだろうと感じます。一方で、難民問題には、戦争や紛争、差別、貧困など、様々な社会課題が絡み合っています。だからこそ難民に対する支援が広がっていくべき、他の生きづらさを抱えた方たちも生きやすくなる社会に繋がるかもしれない、とも思っています。

二週間の派遣期間で、O E J A B の取り組みを存分に吸収し、将来取りこぼしのない支援を行うための大きな一歩にしたいと考えています。そして、O E J A B を一つのロールモデルとしながら、派遣後は私も友愛があふれるような世界を目指して、邁進していきたいです。



大橋 毅弁護士が講義を



鳩山紀一郎さん(中央)を囲んで

### 友愛ユニオン勉強会・懇親会―笑顔あふれて―

―ここに掲載された写真の他、詳細はHPをご覧ください―

12月14日(土)友愛サロンにおいて、友愛ユニオン勉強会が開催された。今回は、クルド人など難民救済活動を続けておられる大橋毅弁護士が、「日本における難民の実態」につ

いて、豊富な資料を基に貴重な講義をしてくださった。鳩山由紀夫理事長も、大橋先生のお話を熱心に聞き入っていた。

また、勉強会に先立って、2024年度のO E J A B 派遣員に決まった6名が、事前の勉強会に参加した。谷藤悦史先生、戸澤英典先生、西川伸起理事長からそれぞれ、O E J A B と友愛の関係、クーデンホーフ・カレルギー伯についてなど、研修訪問前に必要な知識を教えてくださいました。

17時から、毎年恒例の友愛ユニオン懇親会が始まり、久しぶりに顔を会わせたり、新たにメンバー同士が、新たにメンバーに加わった6名と先輩が、あちこちで話の輪を広げていた。

また、鳩山紀一郎議員も若者との交流をと、立ち寄ってくださり、全員からお祝いの拍手を受けていた。笑顔と笑い声に満ちて、懇親会は大盛況であった。

\*この日の様子を写真で綴った「One Day」は、HPでもご覧いただけます。

### 友愛の未来

◆公益財団法人友愛は、ほぼ毎月ペースで理事会を開いています。Web会議全盛の今、時代に逆行するかの如く、友愛サロンに集まる会の会議です。それは、鳩山理事長が常におっしゃっている「人と人が顔を会わせてこそ」という友愛理念の実践でもあります。でも、AI世代の友愛ユニオンメンバーにも、確実に「相互尊重・相互理解・相互扶助」の友愛理念が伝承されていると、懇親会の折れ友愛、頑張れ友愛ユニオンです。

# 謹賀新年

公益財団法人 友 愛

株式会社 ニッセーデリカ

会長 川手 正一郎

機能的セラミックの用途開発と磁器の芸術を追究する岩尾グループ

**IWA O** 十代 岩尾 對山 窯

代表取締役社長  
**岩尾 慶一**

岩尾磁器工業株式会社 岩尾エンジニアリング株式会社  
佐賀県西松浦郡有田町外尾町西 1436-2 TEL 0955-43-2111 FAX 0955-42-5205  
佐賀県西松浦郡有田町大樽2丁目1番5号 TEL 0955-42-5841 FAX 0955-43-2661

ホームページアドレス <http://www.iwao.co.jp/>

**VIA X**  
FOR CREATIVITY AND RELIABILITY

代表取締役社長  
**西門 直**

株式会社 **ヴィアックス**

本社 東京都中野区弥生町2-8-15 TEL:03(3299)6010 FAX:03(3299)6004  
本郷本部 東京都文京区本郷4-9-25 真成館ビル TEL:113-0033  
TEL:03(3815)3788 FAX:03(3815)3135  
URL <https://www.viax.co.jp>

ご宴会・ご婚礼・レストラン・ケータリング

〒110-8715 東京都台東区上野公園4-58  
TEL 03-3821-2181 代  
上野精養軒ホームページは  
QRコードよりご覧いただけます

**上野精養軒**  
since 1872

**LIVECAST** Since1996

Made with Passion  
情熱 × デザイン で  
Webサイトを制作します

ライブキャスト株式会社  
東京都港区南青山4-16-3 南青山オークビル3F  
[www.livecast.co.jp](http://www.livecast.co.jp)

**ASKUL AGENT**  
アスクルエージェント

オフィス用品通販 No.1  
アスクルの法人登録は当社にご用命下さい。

株式会社 **重松商事**  
〒107-0052 東京都港区赤坂2-12-21  
ディアシティ赤坂西館5F  
TEL:03-3588-1501 FAX:03-3588-1321

**上毛資源株式会社**

取締役  
会長 **佐伯 詔一**

〒371-0857 群馬県前橋市高井町1-13-4  
TEL:027-251-7395 FAX:027-251-7337  
URL:<http://www.j-shigen.co.jp>

**WF**  
World Cultural Tradition Foundation

理事長  
**内田由利子**

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-2-3  
アラビゲ人形町  
☎ 03-3249-6788 ☎ 03-5695-0125  
☎ 090-3042-7818  
web site : <http://djkg.org/>  
email : [yuchida@djkg.org](mailto:yuchida@djkg.org)

公益財団法人  
世界文化伝承財団

公益財団法人 友 愛 理事  
一般財団法人 人間塾 評議員

**井上 和子**

〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13  
TEL:03-5684-3188 FAX:03-5684-3186

司法書士法人  
**日本橋総合登記事務所**

司法書士 初瀬智彦  
司法書士 霜田州子

Tel 03-3561-1155

財団 **東アジア共同体研究所**  
East Asian Community Institute World YJAI Forum

**世界友愛フォーラム**

理事長 **鳩山由紀夫**

「建築100周年」

**鳩山会館**

<http://www.hatoyamakaikan.com>  
文京区音羽 1-7-1

公益財団法人 友 愛

評議員 **萩原 直三**

〒154-0003 世田谷区野沢2-33-5-1107

毎夕新聞印刷株式会社

代表取締役  
会長 **川島 毅**

〒113-0022 東京都文京区千駄木3-45-2  
TEL:03-3823-8511  
FAX:03-3822-0304

あなたの気持ちを印鑑にそえて  
はんこのプレゼント

**大切なもの  
大切はんこ  
Present**

山崎印房  
ふみやこ  
文の京にふさわしいこだわりと心

山崎印房 印章・ゴム印  
感謝状  
表彰状  
の筆耕

〒113-0033 東京都文京区本郷4-17-5  
Tel.03-3811-2876 Fax.03-3816-4759

公認会計士 税理士

**小林 広治**

公益財団法人 友 愛

理事長 **鳩山 由紀夫**

〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13  
TEL:03-5684-3188 FAX:03-5684-3186

公益財団法人 友 愛

理事 **攪上 哲夫**

〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13  
TEL:03-5684-3188 FAX:03-5684-3186

公益財団法人 友 愛

理事 **井田 安信**

〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13  
TEL:03-5684-3188 FAX:03-5684-3186

公益財団法人 友 愛

理事 **西川 伸起**

〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13  
TEL:03-5684-3188 FAX:03-5684-3186



2023年夏、北海道栗山町にオープン  
**友愛ファームゲストハウス**

北海道夕張郡栗山町鳩山 538 番地  
TEL 0123-76-9810/FAX 0123-76-9809  
ゲストルーム6室、大浴場、サロホールを備えています。  
<https://www.yuai-farm.com>

宿泊予約等の  
詳細はこちら

**You & I FARM**

**友愛時評**

▼年末には十大ニュースと物故者の追悼企画が恒例であるが、「女性の幸せづくりに情熱を燃やして」桂由美×赤松良子」と題したNHKの番組には見入った。均等法は、その一筆の母である赤松良子氏の女性官僚としてのキャリアも興味深かったが、同年齢で歩んだ桂由美氏の人生は劇的という他ない。▼共立女子大学の1期生として鳩山董学長に白羽の矢を立てられ、友愛創設時に数少ない女性メンバーとなった話は聞いていた。当時の友愛の名前が「満生由美」の名も婦人部長としての活動は続き、選挙カーのウグイス嬢をやったこともあるのだという。鳩山一郎・薫夫妻からは卓抜したリーダーシップを認められ政治家の道を勧められたというが、母親の洋裁学校を継ぐことを選んだ。▼その後、ブライダルドレスに魅せられ、和服が売れなくなるという理由で百貨店に商品を置かせてもらえないことから自前で店舗を構え、日本の結婚式を一変させた。▼ファッション界に疎い筆者がこれ以上を語るには無理だが、着物のお引きずりに着想を得た「ユミライン」が世界のファッション界に影響を与えたという話は文化交流の持つ可能性を示唆的であった。また「情熱は人を動かす」という精神が実際に人生を切り開いていったこともにも感じ入った。▼友愛ユニオンのメンバーにも、いづれ各界で活躍する逸材がいることだろう。一度、先輩方の人生をたどる機会を持つのもいいかもしれない。(ヒゲ)